

血液型を調べてください

血液型を調べてほしいと受診される方がおられます。

昔は生まれた時に臍帯血で血液型を検査したので、母子手帳にも書いてありましたが、今は調べなくなりました。これは、生まれたての赤ちゃんでは、血液型の発現が不十分で違う結果になることもあるからです。もう少し詳しく説明すると、血液型というのは赤血球の表面にある抗原で、A、B、Hの3つがあり、A型は抗原AとH B型は抗原BとH AB型は抗原AとBとH O型は抗原Hだけをもっています。また血清（血液の赤血球、白血球など以外の液体成分）のほうにはA型の人は抗B抗体 B型は抗A抗体 AB型は抗体なし O型は抗A抗体と抗B抗体をもっています。血液型の検査は抗原を見るオモテ試験（通常こっちで調べます）と抗体をみるウラ試験がありますが、赤ちゃんは抗原の量が少なく、AやBがはっきりでないことがあります。だいたい確実にでてくるのは3歳くらいからといわれています。抗体をみるウラ試験に至っては、十分な抗体がでるのは大人になってからといわれています。

ところで、血液型を調べてほしいと来られる時、理由をお聞きすると学校の野外研修などに提出する書類に項目があったので・・・というのがしばしばあります。おそらく、屋外で事故に遭ってして緊急に輸血が必要になったときのことなどを想定してなのでしょうが、今の時代、輸血するときは、必ず血液型は調べなおして、さらにオモテ、ウラの交差適合検査をしてから行いますので、全くナンセンス、前世紀の遺物の書式が残っているのだらうとおもいます。もちろん自分の血液型を知っておくのはいいことですので、ご本人や親御さんが希望すれば調べますが、特に知りたくもないのに、どうでもいい書類のために痛い採血をする必要はないかなと思います。

血液型はABO式が有名ですが、他にもいろいろ抗原型があり、もう一つ有名なのはRh式で、これはD抗原の有無でプラス/マイナスの型があります。日本人はRh（-）の方は0.5%とまれで、この方はABO式が合ってもRh（+）の血液を輸血することはできませんので、そういう点では、自分がまれな血液型でないのかは、どこかで知っておくのは役に立つことではあります。

何かの採血のついでに調べるほか、献血をすれば、ただで血液型がちゃんとわかりますから、これがおススメかもしれません。ちなみに輸血などの治療や診断に必要な時は保険診療ですが、それ以外は自費での検査になります。（当院は1500円です）

予防接種についてのお知らせ

- 日本脳炎ワクチン：
メーカーの生産トラブルで入荷困難となり、当面予約を休止いたします
- コロナワクチン：
当院かかりつけの方は接種させていただく予定ですが、まだ詳細不明の点があり、市からの案内を待ってください（まずは65歳以上の方には接種券が、おくられてきます）